

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年12月23日

事業所名

放課後等デイサービス琳琳

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	利用人数によって部屋を分けたり、座る位置に気を付けている。	体の大きさや年齢を考えて、活動時に怪我をする事が無いようスペースを確保し、安全に活動できるようにする。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	8	0	室内の階段に滑り止めを貼っている。	室内では走らないよう常に声掛けを行う。外階段の上り下りの際には指導員の位置や終えかけを行い、子供達にも意識してもらう。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0	0	会議や連絡ノートを通して、都度業務についての情報を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	年間を通して毎月の資質向上研修が計画されている。	インターネットでの講習視聴など積極的に取り組む。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0		
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	集団活動は日ごとに子供が選び、レクの種類も週で入れ替えている。	子供達に飽きさせないよう、定期的に新しい個別プリントやレクリエーションを考える。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	1	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	前日の振り返りを行い、児童の様子や注意点を共有している。	休んでいた職員にも情報を共有し、支援に当たれるよう連絡ノートに記入し知らなかつたという事がないように注意している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	0	退勤時間、送迎等により、時間が限られている為、翌日に振り返りを行っている。	その日の活動内容を報告書に記載し、残った職員で振り返りを行い、翌日の打ち合わせ時に引き継いでいる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	2	0		

関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	0	0	週末に翌週の予定表をコピーし、下校時間や学校行事等の確認を行っている。	予定表がない場合には、学校へ連絡し、下校時間の確認を取るようにしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	0	0		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	0		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	0	担当の相談員を通して情報共有を行っている。	移行支援会議等がある場合にあまり参加できていない為、積極的に参加したい。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	0	0		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1	0	地域の交流会に參加した。	少人数との交流は出来たが、閑りが少なかったように思えた為、もっと話をする機会を設けたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	0		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	3	6	0		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	7	0	保護者会の代替として法人全体の体育館活動に保護者参加型で交流を図っている。	なるべく多くの保護者に参加してもらう為、事前から保護者に周知してもらうようにする。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0		
	35 個人情報に十分注意しているか	9	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5	0	法人内の別事業所が地域のイベントに参加している。	ポスターやチラシ等で事前にお知らせし、たくさんの方に来てもらえるように活動したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	虐待防止、身体拘束の定義を週一で読み上げ、職員に意識づけしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	記録として残し、振り返りを行い、再発防止に努めている。	同じような事を繰り返さない為に各自で常に意識して業務に当たるようにしたい。